

次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 研究開発課題  
事後評価報告書

|          |  |
|----------|--|
| 研究開発課題名  | 天然化合物及びI Tを活用した革新的医薬品創出技術<br>研究開発項目②「次世代型有用天然化合物の生産技術開発」 |
| 代表機関名    | 次世代天然物化学技術研究組合   |
| 研究開発代表者名 | 新家 一男  |
| 全研究開発期間  | 平成25年度～平成29年度  |

【評価結果】

特に優れている

【評価コメント】

創薬に用いるための複雑な天然化合物生産において、これまで生合成遺伝子を用いた異種発現生産を用いるための課題であった巨大生合成遺伝子クラスター取得および導入技術の開発については、当初の目的をほぼ達成したと判断する。これにより、これまで実用的でないと考えられてきた天然化合物の異種発現技術を実用的なレベルに引き上げることができた。今後は、天然化合物をベースとした医薬品開発の可能性を広げるために、異種発現技術を用いた新規化合物の創出等を考える必要がある。

以上